

つくる・みる・はなす・いる

ともに表現する場所

アートリエ つくるて

に行ってみよう!

ここでは、何を描いても、どんなものをつくってもいい創作の場（オープンアトリエ）です。

こどもからおとなまで、障害のあるなしにかかわらず、いろんな人が集まります。それぞれ自分のペースで何かをつくっています。

同じテーブルにいる人の様子を見たり、使ったことのない画材を試したり。迷ったら、ファシリテーターと一緒に手を動かしたり。

つくる時間のあとは、その日うまれた表現をみんなでみる時間もあります。

つくったものや自分の好きなこと、どうやってつくったか、などなど…

どんなことを話しても大丈夫。

感想や質問、反応をおくりあうと、自分の世界が広がるかも!?



何しようかな～

つくる時間



なんだこれは!



これはどんなものを描いたの?

手話通訳中

なんとなくこうなりました

みる時間

色がきれいだね

今日は何をつくりましたか?



つくるての流れ

約150分

- 1 準備
- 2 あいさつ・画材紹介
- 3 つくる時間
- 4 休憩
- 5 みる時間
- 6 片付け、今日はおしまい!

つくるてをつくる人

参加者



参加しはじめた頃は、人の中へ出ていくことの緊張で、みんなの前でいい絵を描かなくちゃと意気込んでいました。今は絵を描く目的と同じくらい、おしゃべりしたり、友達や仲間ができたり、人と会えるなーと思って来ています。おしゃべりしなくても心が通う時もあってうれしい。居場所がほしい人、いると思う。別に絵が好きでなくてもいいよ。

参加者のつきそい



声を出したり、走り出したりする娘の行動を、普段は周囲にびっくりされることが多いのですが、のびのびした表現をほめていただうれしかったです。私もリラックスして過ごせました。(家族)



本人が生活するグループホームとは別の居場所のひとつになっていると感じています。生活、学校、職場以外の第3の場所は必要だなと思います。(福祉施設の職員)

ファシリテーター



おしゃべり好きな作家、手を動かすのが好きな作家が、交代で参加しています。みなさんがやりたいことをやれるよう見守り、時には自分たちもまざって遊んでいます。ばらばらなままだうまれる雰囲気私たちも影響を受けています!

これまでのファシリテーター

おりがみくん、菊池聡太郎、佐竹真紀子、しょうじこずえ、福田美里、門真妙

ボランティア



みなさんがアートに対して楽しそうにしている姿やお話から、一度離れていた創作と、また関わりたいと思えるようになりました。アートと福祉は自分の中で遠い関係だと思っていました。けれど、こういった活動があると知って、少しでもお手伝いできればいいなど参加しています。(大学生)

Q&A



Q. 画材や道具はありますか?

A. ペン、画用紙、絵の具、粘土など、絵や工作の材料が一通りあります。自分の使いなれている画材や、使ってみたい材料を持ち込んでもOK!

Q. こどもだけで参加できますか?

A. 中学生までは保護者同伴をお願いしています。

Q. 参加したいけど、不安なことがあります。

A. 気になることや必要な配慮(情報保障など)がある場合は、お気軽にご相談ください。スタッフがヒアリングします。

会場の手配や受付窓口を担当しています。見学もできます。一度来てみてね!

スタッフ



仙台市内の公共施設を会場に、年6～8回程度開催中! 日程や会場、参加費など活動の詳細はウェブサイトやSNSをご確認いただくか、お問い合わせください。

お問い合わせ

NPO法人エイブル・アート・ジャパン東北事務局

住所 | 宮城県仙台市青葉区上杉4-1-50 1階

電話 | 070-5328-4208 ファクス | 022-774-1576

メール | soup@ableart.org

HP <https://soup.ableart.org/>

f @soup.miyagi

@soup_ableartjapan_miyagi

